

技術部通信



◆ 「技術部通信」はじめました

大学院理工学研究科技術部では、グローバル人材の育成と分野融合型研究を推進する支援要請に応えるために、常に自らの技術研鑽に努めながら日々の業務に取り組んでおります。

技術部の活動について広く知っていただくことで、これまで以上に技術的な貢献の場を広げることを目的に「技術部通信」を発行することになりました。さまざまな視点から情報を発信してまいりますので、研究・教育等にお役立てください。

◆ 技術相談の事例紹介

工学部教職員への技術支援の試みとして、技術相談窓口を設けております。こんな装置を作りたいのだけれどどうやったら実現できる？機器の不具合の原因を調査してほしい等、業務としてご依頼いただく前のちょっとした相談をお気軽にお寄せください。

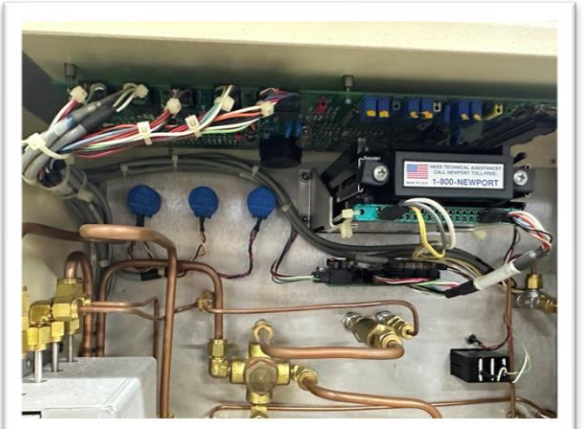
今回は、これまでに技術相談窓口へ寄せられた事例についてご紹介します。

事例1： 海外から取り寄せた測定器の電源電圧変更のための半田づけ作業とそれに伴うコンデンサ変更をして欲しい。

→ 詳しい規格や販売先など不明でしたが、実機や手に入る範囲でマニュアルを確認して仕様に見合うコンデンサを購入し、交換しました。

事例2： 古い実験装置のマルチダイヤルが故障したので、可能ならば修理、もしくは代用品を購入して交換してほしい。

→ 当該ダイヤルが何に使用されている部品なのか内部を見て確認したところ、ポテンショメータの故障と判明しました。分解すると戻せない仕様のため修理は断念しました。純正メーカーの後継部品は国内での販売先をすぐには見つけられなかったため、同じ仕様の代用品を選定し購入しました。これを取り付けて修理完了の予定でしたが、差し込む軸厚が0.03mm厚く、差し込み不可。ダイヤルの内径を削り厚み調整、また本体への追加工も必要だったので対処しました。



このように、販売メーカーに修理を断られたものでも可能な限り対応しています。まずはお気軽に技術相談窓口からご相談ください！

◆ 新人紹介

10月から技術部に新しく加わったフレッシュな新人技術職員を紹介します。

・牟禮 野乃華（専門：化学、食品機能学 支援先：化学生命工学PG）

技術相談を承ります

1. 技術部ホームページから「技術相談窓口」へアクセス
2. フォームに必要項目を記入して送信
3. 後日、打ち合わせ日を決定し担当より連絡いたします

※ 製作作業依頼につきましては、従来通り中央実験工場にて承っております。

